

【S R D - 8 2 0 0】

---

取 扱 説 明 書



# 目次

設定方法	2
ブザーと通知 LED の意味	2
設定がおかしくなった時・出荷時初期設定	3
USB インターフェイスの初期設定	4
USB-COM インターフェイスの初期設定	5
<b>Chapter.1 バーコードスキャナー初期設定</b>	
インターフェイス設定	6
キーボード言語設定	6
<b>Chapter.2 バーコードスキャナー機能設定</b>	
NumPad	7
CAPSLOCK モード	7
大文字・小文字	8
コード ID	9
ブザー音設定	10
照射光設定	11
<b>Chapter.3 シリアル通信設定</b>	
ボーレート(通信速度)	12
データパリティ(パリティ長)	13
データビット(データ長)	13
ストップビット	13
<b>Chapter.4 読取設定</b>	
読取設定(トリガーモード設定)	14
終端データ設定	15
<b>Chapter.5 単一バーコード有効設定</b>	18
<b>Chapter.6 読込バーコードの有効設定</b>	22
<b>Chapter.7 UPC-A</b>	26
<b>Chapter.8 UPC-E</b>	27
<b>Chapter.9 EAN-13 &amp; EAN-8</b>	28
<b>Chapter.10 Code-39</b>	29
<b>Chapter.11 Codabar</b>	30
<b>Chapter.12 Interleaved 2of5 &amp; Industrial 2of 5</b>	31
<b>Chapter.13 Code-128 &amp; GS1-128</b>	32
<b>Chapter.14 プリフィックス・サフィックス</b>	33
プリフィックス設定 各バーコードの種類	34
サフィックス設定 各バーコードの種類	36
挿入文字 一覧	38



## 設定開始

---

この度は、二次元バーコードスキャナー SRD-8200 (以下、本製品) をご購入頂きまして誠にありがとうございます。

この説明書は本製品の基本的な使用方法と設定方法について説明しております。ご使用になれる前に必ずお読みください。

### 注意事項

- ・ 光源を目に当てたり見つめたりしないでください。
- ・ 幼児の手の届かない場所をご利用ください。
- ・ バーコードの設定以外で使用しないでください。
- ・ 弊社の許可なく、改造・分解・修理を行わないでください。
- ・ 医療機器・原子力設備など人命に関わる機器として使用しないでください。
- ・ 日本語取扱説明書に記載のない環境で使用しないでください。

安全に正しくご使用いただくために

- ・ ケーブルの着脱時は、必ず本機に接続している機器の電源を切ってください。
  - ・ 本機を分解改造しないでください。
  - ・ ケーブル類はできるだけ高圧線や動力源から離してご使用ください。  
ノイズや故障等の原因になります。
  - ・ ケーブルを持って、持ち運ばないようにしてください。なお、  
保証期間中であっても、初期不良以外ケーブルは全て有償扱いとなります。
  - ・ 本機の受光部に、水・油・ホコリなどを付着させないでください。
  - ・ 本機は精密機械ですので、落下させた場合破損する恐れがあります。  
持ち運びや設定の際はご注意ください。
- 



設定終了



設定開始

## 設定方法

本製品は本製品説明書の設定バーコードを読み込ると、動作の設定を変更することができます。

本製品は設定開始バーコードを読み込、その後希望の設定バーコードを読み込、設定終了バーコードを順に読み込みます。

また、各項目右横の初期値：【】は、出荷時の設定です。

## ブザーと通知 LED の意味

音	本体上部 LED	意味
ピロリ 1 回	無し	起動時
1 回	青 LED 点灯	読込成功、データ転送
設定時の音と LED		
ピロリ 1 回	無し	設定開始バーコード読込時
設定終了バーコードを読み込むまで 1 秒間隔でピ、ピ、ピと音が鳴る。		
1 回	無し	希望設定バーコード読込時
ピロリ 1 回, 3 回	無し	設定終了バーコード読込時



設定終了



設定開始

## 設定がおかしくなった時・出荷時初期設定

データが異なる、何も入力されない、動作しない、などの場合は以下をお試しください。

- 本製品を出荷時の設定に戻す  
P4 または P5 の出荷時初期設定のバーコードを読み取り、リセットしてみてください。
- 接続し直す  
スキャナーを一旦コンピュータからはずし、接続し直してみてください。
- USB ポートを替える。
- コンピュータを再起動する。
- 他のコンピュータに接続してみる。

設定時の音と LED		
ピロリ 1 回	無し	設定開始バーコード読込時
設定終了バーコードを読み込むまで 1 秒間隔でピ、ピ、ピと音が鳴る。		
1 回	無し	希望設定バーコード読込時
ピロリ 1 回, 3 回	無し	設定終了バーコード読込時
ブー (失敗音)	無し	設定バーコード読込失敗時

※希望設定バーコードを読み込むときだけトリガーを押してください。

設定開始バーコード読込	<ピロリ 1 回鳴る>
↓	
↓	<読取照射光は点灯しっぱなし。1 秒間隔で音が鳴る>
↓	
希望設定バーコード読込時	<1 回音が鳴る>
↓	
↓	<設定終了バーコードを読み込むまで 1 秒間隔で音がなる>
↓	
設定終了バーコード読込時	<ピロリ 1 回、3 回鳴る>



設定終了



設定開始

---

弊社のバーコードスキャナーは、下記の設定をして出荷しています。

出荷時の設定に戻されたい場合は下記のバーコードを上から順番に読み込んでください。

(P.XX は、マニュアルの該当ページ番号です。)

## USB インターフェイスの初期設定

### 1. 設定開始



### 2. 初期設定



### 3. 日本語設定

( P.6 )



### 4. QRコード読取 有効設定

( P.25 )



### 5. 設定終了



設定終了



設定開始

---

## USB-COM インターフェイスの初期設定

### 1. 設定開始



### 2. 初期設定



### 3. 日本語設定

( P.6 )



### 4. QRコード読取 有効設定

( P.25 )



### 5. 設定終了



#### シリアル通信 工場出荷時初期設定

ボーレート : 9600

ストップビット : 1

データビット : 8

パリティ : No Parity



設定終了



設定開始

---

## Chapter.1 バーコードスキャナー初期設定

---

インターフェイス設定

初期値：【USB】



USB



USB-COM

---

キーボード言語設定

本製品は、【日本語】の設定  
を行い出荷しております。



日本語



US English



French



German



設定終了





設定開始

## Chapter.2 バーコードスキャナー機能設定

### NumPad

初期値 : 【NumPad の使用無し】



NumPad の使用無し



NumPad の使用



自動 NumLock モード

NumPad の使用無し	キーボード右の数字キー部分のデータ転送を行いません。
NumPad の使用	キーボード右の数字キー部分のデータ転送を行います。この設定下では、NUMLOCKは常に ON になっていなければなりません。
自動 NumLock モード	この設定下では、自動的に正しい NUMLOCK の状態が適用されます。

### CAPSLOCK モード

初期値 : 【CAPSLOCK モード無し】



CAPSLOCK モード無し



CAPSLOCK モード



自動 CAPSLOCK モード

CAPSLOCK モード無し	CAPSLOCK モードを使用しません。
CAPSLOCK モード	キーボードで CAPSLOCK モードが ON の場合、データは正しく表示されます。データ転送の後、キーボードの CAPSLOCK は ON になります。
自動 CAPSLOCK モード	CAPSLOCK モードの状態にかかわらず、転送データは正しく表示されます。



設定終了



設定開始

大文字・小文字

初期値：【変更なし】



変更なし



大文字



小文字



変更有り

※例)

テストコード：AbCd	
変更なし	AbCd
大文字	ABCD
小文字	abcd
変更有り	aBcD



設定終了



設定開始

## コード ID



バーコードタイプ (1次元)	コード ID
Interleave-25	N
Code-39	V
Code-128	T
Codabar(NW7)	R
UPC-A	C
UPC-E	D
EAN-13	B
EAN-8	J
DataBar(RSS)-14	y

バーコードタイプ (2次元)	コード ID
Aztec	o
Codablock	E
Data Matrix	t
Maxi Code	v
PDF417	r
QR コード	u



設定終了



設定開始

### ブザー音設定

初期値：【ブザー有効、Single tone ブザー】



ブザー有効



ブザー無効



Single tone ブザー



High-low ブザー



Low-high ブザー

Single tone ブザー	3KHz
High-low ブザー	3KHz - 2.5KHz
Low-high ブザー	3KHz - 4HKz

### ブザー音量

初期値：【Maximum】



Maximum



大



中



小



設定終了



設定開始

### 起動音設定

初期値：【起動音有効】



起動音有効



起動音無効

### 照射光設定

初期値：【投光照明有効】



投光照明有効



投光照明無効



トリガーによる投光照明 ON

※画像取込のためにバーコードを照らす光に、バーコードの周辺範囲を赤光で照らす投光照明と、バーコードに焦点を合わせる緑光の焦点光があります。

バーコード読込範囲があまりにも反射の激しい場合は、投光照明を無効にすることが必要となります。



設定終了



設定開始

---

## Chapter.3 シリアル通信設定

---

ボーレート (通信速度)

初期値 : 【9600】



150



300



600



1200



2400



4800



9600



19200



38400



57600



115200



設定終了



設定開始

---

データパリティ (パリティ長)

初期値 : 【No Parity】



No Parity



Even



Odd

---

データビット (データ長)

初期値 : 【8 ビット】



7ビット



8ビット

---

ストップビット

初期値 : 【1ビット】



1ビット



2ビット



設定終了



設定開始

## Chapter.4 読取設定

### 読取設定 (トリガーモード設定)

バーコードリーダーの読込をどのような状態であるかを設定します。

初期値：【トリガーON/OFF】



トリガーON/OFF



検査モード



連続読取



トリガーで動作



オートスキャン

検査モード	数秒おきに光が照射します。
連続読取	読取光が常時点灯します。
トリガーで動作	トリガーで読取光の ON・OFF を操作できます。
オートスキャン	専用スタンドに設置して、自動でバーコードを検知します。



設定終了





設定開始

## 終端データ設定

バーコードデータの最後に付加するコードを選択します。

初期値：【RETURN】



F1



F2



F3



F4



F5



F6



F7



F8



F9



F10



F11



F12



設定終了



設定開始

---



Backspace



Tab



RETURN



Enter ( Numeric keypad)



ESC



Arrow down



Arrow up



Arrow right



Arrow left



<DEL>



<INSERT>



<HOME>



<END>



Page up

---



設定終了



設定開始

---



Page down



Left <Shift>



Left <Ctrl>



Left <Alt>



Left <GUI>



Right <Shift>



Right <Ctrl>



Right <Alt>



Right <GUI>



CAPSLOCK



<SPACE>



設定終了



設定開始

## Chapter.5 単一 バーコード有効設定

- この章の設定で、読みたいバーコードの種類だけを選択することができます。  
例えば、“Code-39 だけ”を選択した場合、他のコードは読めなくなります。
- 読みたいバーコードだけを選択すると以下のようにメリットがあります。
  - ・ より早い読込
  - ・ 読み込みたくないバーコードの誤った読込を防止する
  - ・ バーコードタイプを限定し安全性を高めているため、誤読の可能性が減る

すべての UPC と EAN コードのみ読込	
UPC のみ読込	
UPC+ Addon-2 のみ読込	
UPC+Addon-5 のみ読込	
EAN のみ読込	
EAN+ Addon-2 のみ読込	



設定終了



設定開始

EAN+Addon-5 のみ読込	
Code-39 のみ読込	
Codabar のみ読込	
Industrial 2 of 5 のみ読込	
Interleaved 2 of 5 のみ読込	
Matrix 2 of 5 のみ読込	
IATA のみ読込	
MSI/Plessey のみ読込	
Code-128 のみ読込	



設定終了



設定開始

GS1 DataBar のみ読込	
GS1 DataBar Limited のみ読込	
GS1DataBar Expanded のみ読込	
DataMatrix ECC000-140 のみ読込	
DataMatrix ECC200 のみ読込	
QR コードのみ読込	
Micro QR コードのみ読込	
Maxicode のみ読込	
PDF417 のみ読込	



設定終了



設定開始

---

MicroPDF417 のみ読込	
すべての一次元コードのみ読込	



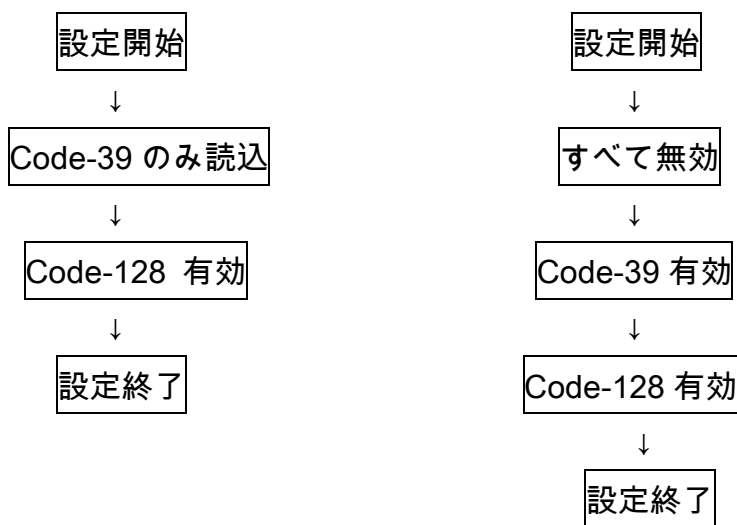
設定終了



設定開始

## Chapter.6 読込バーコードの有効設定

- この章の設定で、多くのバーコードの種類を読込有効設定にできます。  
また、読込有効設定にしたいバーコードの種類を追加できます。
- (例) “Code-39”と“Code-128”のみを読込たい場合。  
以下の2つの設定方法があります。



※【】が初期状態の設定です。

【UPC有効】	
UPC+Addon-2有効	
UPC+Addon-5有効	



設定終了





設定開始

※ **【】** が初期状態の設定です。

【EAN 有効】	
EAN+Addon-2 有効	
EAN+Addon-5 有効	
【Code-39 有効】	
【Codabar 有効】	
【Industrial 2 of 5 有効】	
【Interleaved 2 of 5 有効】	
Matrix 2 of 5 有効	



設定終了



設定開始

※ 【】が初期状態の設定です。

【IATA 有効】	
【MSI/Plessey 有効】	
【Code-128 有効】	
GS1-Databar 有効	
GS1-Databar Limited 有効	
GS1-Databar Expanded 有効	
DataMatrix ECC000-140 有効	
【DataMatrix ECC200 有効】	



設定終了



設定開始

※ 【】 が初期状態の設定です。

【QR コード有効】	
【MicroQR コード有効】	
【Maxicode 有効】	
【PDF417 有効】	
【MicroPDF417 有効】	
すべての 1 次元コード有効	
すべての 2 次元コード有効	
全て無効	



設定終了



設定開始

---

## Chapter.7 UPC-A

---

先頭0とチェック文字転送

初期設定：【先頭0無し、チェック文字転送有り】



先頭0無し、チェック文字転送有り



先頭0無し、チェック文字転送無し



先頭0有り、チェック文字転送有り



先頭0有り、チェック文字転送無し



設定終了



設定開始

## Chapter.8 UPC-E

先頭0とチェック文字転送

初期設定：【先頭0無し、チェック文字転送有り】



先頭0無し、チェック文字転送有り



先頭0無し、チェック文字転送無し



先頭0有り、チェック文字転送有り



先頭0有り、チェック文字転送無し

UPC-A 変換

初期設定：【無効】



無効



有効



設定終了



設定開始

## Chapter. 9 EAN-13 & EAN-8

### EAN-13 チェック文字転送

初期値：【有効】



有効



無効

### EAN-8 チェック文字転送

初期値：【有効】



有効



無効

### ISBN 転送

初期値：【無効】



有効



無効

### ISSN 転送

初期値：【無効】



有効



無効



設定終了



設定開始

## Chapter. 10 Code-39

### Code-39 フォーマット設定

初期値：【ノーマル Code-39】



ノーマル Code-39



Full ASCII Code-39

### チェック文字検査

初期値：【無効】



有効



無効

### チェック文字転送

初期値：【有効】



有効



無効

### スタート・ストップ文字転送

初期値：【無効】



有効



無効



設定終了



設定開始

## Chapter.11 Codabar

### チェック文字検査

初期値：【無効】



有効



無効

### チェック文字転送

初期値：【有効】



有効



無効

### スタート・ストップ文字転送

初期値：【無効】



無効



スタート・ストップ文字 ABCD/ABCD



スタート・ストップ文字 abcd/abcd



スタート・ストップ文字 ABCD/TN\*E



スタート・ストップ文字 abcd/tn\*e



設定終了





設定開始

---

## Chapter.12 Interleaved 2 of 5 & Industrial 2 of 5

---

チェック文字検査

初期値：【無効】



有効



無効

---

チェック文字転送

初期値：【有効】



有効



無効



設定終了



設定開始

---

## Chapter.13 Code-128 & GS1-128

---

GS1-128 有効設定

初期値 : 【無効】



GS1-128 のみ読込



GS1-128 も有効



無効



設定終了



設定開始

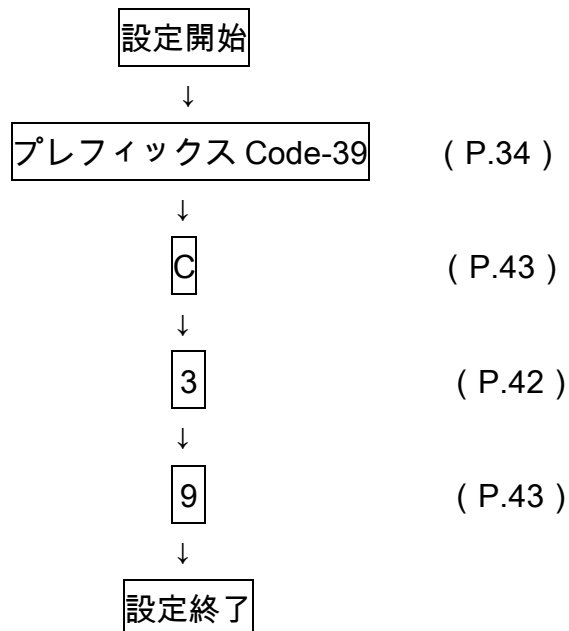
---

## Chapter.14 プリフィックス・サフィックス

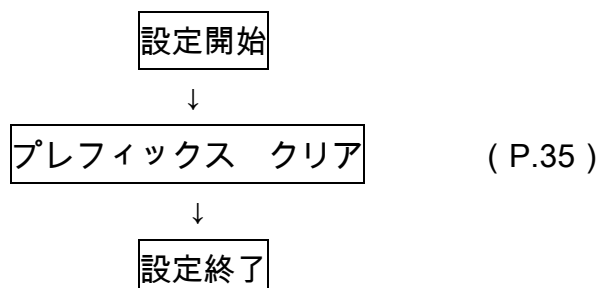
---

- プレフィックスはバーコードデータの頭に文字を挿入することです。
- サフィックスはバーコードデータの後ろに文字を挿入することです。
- プレフィックス・サフィックスそれぞれ最大4桁まで挿入することができます。  
それ以上の桁数を挿入したい場合はお問い合わせ下さい。

- ( 設定例 ) : Code-39 バーコードの頭に“ C39 ”の3文字を挿入したい場合。



- ( 設定例 ) 設定したプレフィックスを消去したい場合。



設定終了



設定開始

プリフィックス設定 各バーコードの種類

すべてのコードにプリフィックス読込	
UPC-A	
UPC-E	
EAN-13	
EAN-8	
Code-39	
Codabar	
Industrial 2 of 5	
Interleaved 2 of 5	









設定終了



設定開始

プリフィックス設定 各バーコードの種類

Code-128	
GS1-Databar	
DataMatrix	
QR Code	
MicroPDF417	
Maxicode	
クリア プレフィックス	



設定終了



設定開始

サフィックス設定 各バーコードの種類

すべてのコードにサフィックス読込	
UPC-A	
UPC-E	
EAN-13	
EAN-8	
Code-39	
Codabar	
Industrial 2 of 5	
Interleaved 2 of 5	



設定終了



設定開始

サフィックス設定 各バーコードの種類

Code-128	
GS1-Databar	
DataMatrix	
QR Code	
MicroPDF417	
Maxicode	
クリア プレフィックス	



設定終了



設定開始

挿入文字 一覧

!	
“	
#	
\$	
%	
&	
‘	
(	
)	



設定終了





設定開始

挿入文字 一覧

*	
+	
,	
-	
.	
/	
:	
;	
<	




設定終了



設定開始

挿入文字 一覧

=	
>	
?	
@	
[	
\	
]	
^	
-	



設定終了



設定開始

---

挿入文字 一覧

、	
{	
	
}	
~	



設定終了



設定開始

挿入文字 一覧

0	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	



設定終了



設定開始

挿入文字 一覧

9	
A	
B	
C	
D	
E	
F	
G	
H	



設定終了



設定開始

挿入文字 一覧

I	
J	
K	
L	
M	
N	
O	
P	
Q	



設定終了



設定開始

挿入文字 一覧

R	
S	
T	
U	
V	
W	
X	
Y	
Z	



設定終了



設定開始

挿入文字 一覧

a	
b	
c	
d	
e	
f	
g	
h	
i	



設定終了





設定開始

挿入文字 一覧

j	
k	
l	
m	
n	
o	
p	
q	
r	



設定終了



設定開始

挿入文字 一覧

s	
t	
u	
v	
w	
x	
y	
z	












設定終了



設定開始

挿入文字 一覧

^@ (NULL)	
^A (SOH)	
^B (STX)	
^C (ETX)	
^D (EOT)	
^E (ENQ)	
^F (ACK)	
^G (BEL)	
^H (BS)	












設定終了



設定開始

挿入文字 一覧

^I (HT)	
^J (LF)	
^K (VT)	
^L (FF)	
^M (CR)	
^N (SO)	
^O (SI)	
^P (DLE)	
^Q (DC1)	












設定終了



設定開始

挿入文字 一覧

^R (DC2)	
^S (DC3)	
^T (DC4)	
^U (NAK)	
^V (SYN)	
^W (ETB)	
^X (CAN)	
^Y (EM)	
^Z (SUB)	



設定終了



設定開始

---



設定終了

## 製品保証規定

- 本製品の保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
  - 保証期間内の無料修理は、故障製品を当社までお送り頂き、修理完了品又は代替品をお客様に返送することとします。  
製品保証書に記載された“製品保証に関するお問い合わせ先”からご案内した宛先まで故障製品を送付して下さい。配送料はお客様負担でお願い致します。  
いかなる場合でも、商品を発送する際は、かならずお買い求めの販売店にご連絡ください。
  - 保証期間内であっても次の項目に該当する場合は、無料修理の範囲外とさせていただきます。(但し、無料修理の範囲外であっても有料での修理又は代替品への交換・サービスはご利用頂けます。)
    - 1：使用上の誤り、又は不当な修理や改造によって生じた故障及び損傷
    - 2：お買い上げ後の輸送、移動、落下等によって生じた故障及び損傷
    - 3：接続している他の機器によることが起因して生じた故障および損傷
    - 4：火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異、公害、塩害、異常電圧等の外部要因によって生じた故障及び損傷
    - 5：読み取りバーコードの状態が著しく劣悪な場合
    - 6：本製品保証書の提示がない場合、本体のシリアル番号ラベルが確認できない場合
    - 7：本製品保証書の所定事項に記入がない場合、又は字句を不当に書き換えられた場合
    - 8：ケーブル類（但し、初期不良は除きます。）
  - 初期不良品と認められた場合、同製品または同等品と交換させていただきます。(返金はできません)  
お客様から初期不良品を発送していただくときの送料は、弊社が負担いたします。また、商品が不良品でなかった場合は、技術料を頂く場合がございます。  
「初期不良」とは、以下の基準を満たしている必要があります。
    - 1：商品到着後7日以内
    - 2：商品の付属品（パッケージ、取説、納品書等書類）がすべてそろっていて、なおかつ損傷がないこと
    - 3：お客様による商品の取り扱い不注意で、落下等の不適切な扱いがないこと
    - 4：製品の仕様書に記されている使用条件、または使用上の注意事項等を逸脱して使用されていないこと
  - 返品につきましては、未開封の（パッケージ、商品が入っていた袋等）状態の物と、初期不良品（不良品については上記「初期不良とは」を参照）のみ、返品可とさせていただきます。特注品の場合は、不良品以外の返品は一切不可とさせていただきます。  
もし、お客様のご要望により、不良品をほかの商品に変更の場合は、変更商品の価格が、変更前の商品より、価格が上の場合のみとさせていただきます。その際には、価格の差額分をご請求させていただきますこととなります。  
お客様のご都合による返品の場合は、送料、手数料のご負担をお願い致します。こちらから商品を発送させて頂いた時の送料も、ご負担をお願い致します。
  - 修理によって交換された不良部品の所有権は当社に帰属するものとします。
  - 本製品保証規定は、本製品についてのみ無料修理をお約束するもので、本製品の故障又は使用によるその他の損害については、当社はその責を一切負わないものとします。
  - 本保証は日本国内での使用においてのみ有効です。
  - 本保証の規定内容は予告無く変更する場合がございます。
- このマニュアルは予告なしに変更されることがあります。**

<製品に関するお問い合わせ先>

株式会社エス・アール

〒486-0821 愛知県春日井市神領町2丁目23番地12 名藤ビル2階

TEL : 0568-85-9939 FAX : 0568-84-1755

営業時間 10:00~12:00 13:00~17:00 (土、日、祝を除く)

**SRD-8200 取扱説明書**

**株式会社 エス・アール**

平成 28 年 2 月 1 日